

検定は、1年に2回、4月と12月の第1日曜日に開催します

録画審査も実施しています。

会場：フリーゲルサロン

福岡市城南区片江 1-1-23

(フリーゲル音楽教室内)

受験料：1,500円



スケール ソルフェージュ 初見視奏 検定 上級編

基礎力を養い、生涯にわたって音楽を楽しめるかけがえのないスキル獲得を目指します。スケールもアルペジオはもちろん、難易度の高い曲によく出てくるオクターヴ奏法や重音のスケール、アルペジオなど応用的な技術に挑戦しましょう。大変難しいですが、一步一步ピアニストの技術に近づいてますますピアノを楽しめますように！

ピアニストの
基礎練習帳
毎日のスケール&アルペジオ

岩崎 淑



(検定で使用する楽譜)



上級【4A～1B 級】

スケールとアルペジオについて

スケールとアルペジオを余裕をもって弾けるようになった皆さんは次に反進行を取り入れながら応用的なスケールとアルペジオに挑戦します。より自在な指の動き、特に左手の独立性の強化にとっても有益な練習です。

スケールとアルペジオ課題

- 4A #系長調
- 4B #系短調
- 3A ♭系長調
- 3B ♭系短調
- 2A ♭系長調
- 2B ♭系短調
- 1A すべての長調
- 1B すべての短調

オクターヴ、3 度、6 度のテクニック

オクターヴを弾くときに、どうしても手首に力が入ってしまい腕の痛みや疲労を感じる事がよくあります。同じことは3度や6度の奏法でも同じで、これらの技術はピアノの技術の中で最も難しいものです。検定ではハノンピアノ教本の48番から57番を段階的に学びます。よりリラックスした体の状態を体感しつつ、弾けることが目標です。

オクターヴ、3 度、6 度課題

- 4A 48,49 番 (手首脱力のための連打)
- 4B 50 番 (3度スケールの準備)
- 3A 51 番 (オクターヴスケールの準備)
- 3B 53 番 (オクターヴスケール)
- 2A 54 番 (3度のトリル)
- 2B 59 番 (6度のトリル)
- 1A 52 番 (3度のスケール)
- 1B 56,57 番
(オクターヴの分散スケールとアルペジオ)

初見視奏

初見視奏 (略して初見) は、16~32 小節の課題から始めます。どのような指使いで弾けばよいのかのイメージをつかみ、両手のリズムの合わせ方など、より複雑な楽譜を読み解くことを目標とします。また、バロック~現代までの特殊な楽譜にも親しんでいきます。楽譜から曲想を瞬時に読み解き、表現できるスキルを磨きます。